

コロナウイルスの感染拡大の影響に関する（施設部会）アンケートの結果より

介護職員が 37.5° の発熱が 4 日続いたためにかかりつけ医に行った。保健所に問い合わせをしたら、その程度では PCR の対象にならないと言われた。その後、2 回目、かかりつけ医に受診し先生から保健所に連絡先をしたら、やはり断られた。結局その職員は不安なまま、2 週間自宅待機をした。老人ホームは現在外部の方や入居者家族も面会を断っている中で感染源となりうるのは現場職員から可能性が高い。介護職員や入居者に発熱がある場合などは優先的に PCR 検査 がすみやかに受けられるようにしてほしい。施設の介護現場は感染予防に徹底しているが一度入居者に陽性者を出してしまうとすぐに崩壊してしまうことは必ずである。その見地からも PCR 検査を優先してほしい。

発熱した入居者は直ちに PCR 受けられるシステムをとり陽性であれば速やかに区内外の病院に入院できる体制を確立してほしい。実際ホームで PCR もできず熱発をしている入居者を隔離してみたとしても不安の中職員のメンタルや限られた物資の中、感染予防にも限界がある。

市場での在庫確保が難しくなっている商品の支給が可能であるか。

体温計用のボタン電池 体温計 ペーパータオル マスクなど 一度の支援でなくて継続的に行っていただきたいとの現場の意見が上がっている。

区で 介護施設専用の感染症対策相談窓口（電話回線）を設置してほしい。（PCR 実施も含めて）心配な事などあるときは常に相談できる部署が欲しい。（繋がり安いことが前提）

万が一ホーム内で感染者が出たときは区としてどのような支援をして頂いているのか。（入院の調整、ホーム内の消毒、防護服の提供などの支給）明示して欲しい。

医療従事者と同様に、介護従事者にも、応援手当金などの支給を検討してほしい

区内感染情報を提供願えないか。

医療機関や特養などの感染情報など入手を区から提供して欲しい。

それをもとに、見学・入居の受け入れの参考にしたい。

公共機関利用の職員の通勤経路評価に参考したい。

中軽度入居者の受入医療機関のキャパシティを情報として随時提供して欲しい。

(ホーム内で隔離対応を自助するのか医療機関等で受入可能な場合は定期的な空床情報の提供)

- ・今後、国や都から物的支援ある場合、郵送等の手段で提供願いたい。
- ・今後、検査体制や判定方法の確立程度に応じて、医療職に準じて介護従業者の陰性判定を優先いただきたい。  
緊急事態宣言下、集団感染があるとすれば、医療機関か介護事業所となる蓋然性が高い。

#### その他

- ・現下の情勢を契機とした区との連携強化量の充実に図り、情報伝達の共有などを図るようにしたい。  
介護保険所管課としての支援内容はどのようになっているのか。

#### その他アンケートの意見より

正直なところ職員も利用者様もどこまで守れるか不安です、医療は最前線かと思いますがもっと福祉の事も考えて欲しいと思います。様々なリスク、倒産も懸念しながらストレスは多大かと思います。職員が疲れて、離職しないか心配です。人員配置が困難な時代がくるかもしれません。